

ふう けい き こう
風景紀行
僧ヶ岳
 84
 富山森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

僧ヶ岳県立自然公園

「富山署」富山県東部、魚津市と黒部市の境にある僧ヶ岳（標高一、八五五メートル）を中心とした約五、八〇〇鈔の区域（うち国有林が三、一六〇鈔）を貴重な自然環境、多様な生態系や優れた風景を保全し、県民の保健・休養および教化のための利用を図るため、平成二十三年九月九



僧ヶ岳山頂を望む



僧ヶ岳の名前の由来
 「僧が尺八を吹き、馬を引く姿」

日に県内六番目の県立自然公園に指定されました。

公園区域は、僧ヶ岳・駒ヶ岳を中心に、中部山岳国立公園、片貝県定公園、黒部川に囲まれた区域で、貴重な植物が生育する地域三、四六七鈔を特別地域に指定し、一度破壊されると自然再生が困難な風衝草原等の植生の生育地である僧ヶ岳山頂地域の二五鈔は、第一種特別地域に指定されました。

僧ヶ岳の名前の由来は、「僧が尺八を吹き、馬を引く姿」に似ていることからきていると言われています。

僧ヶ岳は日帰り登山として親しまれていますが、北アルプスの最北端に位置し、山頂からは立山連峰、白馬岳から針の木岳まで眺望ができ、また、登山道からは黒部川扇状地と富山湾の海岸線、さらには遠く能登半島までの眺望が眼下に



黒部溪谷を走るトロッキ電車

広がります。

周辺には、トロッキ電車で行く黒部溪谷、タテヤマスギの巨木が巨石を抱えて育つ洞杉巨木群、約二千年前に埋没したスギ原生林跡を展示している魚津埋没林博物館等があります。



洞杉巨木群



魚津埋木林博物館

◆アクセス（一般的なルート）

北陸自動車道黒部ICから宇奈月温泉を経由して烏帽子尾根登山口まで車で約一時間。登山口から僧ヶ岳山頂まで約三時間。

【周辺施設等】

- 黒部溪谷…電源開発の輸送として使用されたトロッキ電車で溪谷を鑑賞できます。
- 洞杉巨木群…タテヤマスギの巨木で樹齢はおよそ五百年と推定されています。
- 魚津埋没林博物館…約二千年前、河川氾濫と海面上昇が複合して埋没したスギ原生林跡。